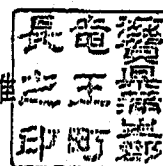


竜 建 第 1 0 3 5 号
平成20年10月20日

国土交通省道路局長 様

滋賀県蒲生郡竜王町長 竹 山 秀 雄



今後の道路行政についての意見・提案について (回答)

平成20年9月19日付け国道企第37号で依頼のありました、今後の道路行政についての意見・提案について別紙のとおり回答致します。

今後の道路行政についての意見・提案

①道路行政全般についての改善すべき点、要望や提案など

滋賀県竜王町

先に閣議決定されました「道路特定財源等に関する基本方針」において、一般財源化後における道路整備について、「地方財政に影響を及ぼさないように措置する。」また、「必要と判断される道路は着実に整備する。」とあります。

竜王町においては、名神高速道路に接続する国道477号の拡幅改良、町内を縦断する県道綾戸東川線、主要地方道近江八幡竜王線等の歩道を含む道路拡幅改良、町道西川ため池線の歩道整備、町道山面鏡西線道路新設等を大変重要な整備路線として位置付けており、広域関連道路として国道8号のバイパス化の早期決定を願っているところであります。これらが「着実に整備する道路」と解されるのですか。だれが、どのものさしで必要性を判断されるのでしょうか。

地方の道路は、産業経済を支える人々の生活の基盤であり、明日への活力を保持する安全安心の道路となっていなければならないと考えます。

もう道路整備は十分で不用だとの声もあります。この人たちは現場を知らないのでは。

地方の道路は、道路構造も弱く、交通量の増加から舗装等の損傷が日増しに激しくなっています。

このようなことから、道路特定財源の用途は道路に関することとし、道路維持補修にも活用できるよう改善を要望するものであります。

今後の道路行政についての意見・提案

②—1 地域の現状と抱える課題

滋賀県竜王町

○現状

町内中央部に国土幹線軸となる名神高速道路の竜王インターチェンジを配し、北部には国道8号、西部には国道477号、隣接市には国道1号が通過している。

また町内を縦断的に主要県道が3本、横断的には3本の主要町道を配している。

竜王インターチェンジは交通の結節点であることから、日常生活での利用はもとより、近隣企業の物流交流の集結点としての機能が強く、産業インターの要素を高めているインターとなっている。

このことから、町内への車輛進入は多く、幹線道路が渋滞してくると集落を連結する道路が通過交通を迎えている状況となっている。

また、国土の大幹線軸であるはずの国道8号は、朝夕のラッシュ時には大きく機能低下をもたらしており、人々の経済活動への余裕を低下させている。

○課題

交通の結節点となる竜王インターに接続する国道477号は、一部の旧町道をそのままの道路構造で国道に昇格していることから、最も重要な路線であるはずなのに、大型車輛の通過に際しては、完全な歩道もないことから、自転車・歩行者の通行には大変危険な道路となっており歩道整備と道路拡幅が急務であります。

国道8号の朝夕の慢性適な交通渋滞対策については、早期にバイパス整備のルート決定していただき、方向性を定めていただきたい。そのことにより、ゆとりある通勤が出来、経済活動の向上も期待できます。

町内を縦断する県道綾戸東川線・町道中央通り線については、大型車輛増加に伴い通行者の安全を確保する面から、両側歩道の設置が是非とも必要であります。

また、町内を横断する町道巡検線・町道西川ため池線については、国道と県道を結ぶ国道8号のバイパス的な役割を果たしており、通行者の安全確保のため歩道設置が必要であります。

今後の道路行政についての意見・提案

②—2 地域の目指すべき将来像

滋賀県竜王町

本町は、平地部は農地であり、外周部は山林と河川に囲まれ、道路体系については圃場整備により碁盤の目のように配置されている。面積44.52km²、人口13,500人強の小さな町である。

本町においては、現在町の活力を更に高めるため、庁舎周辺を中心核整備、竜王インター周辺の地域振興、若者定住の推進、住宅供給施策等のまちづくりの推進に取り組んでいる。

これらのまちづくりを推進するにあたっては道路網の整備は必要不可欠であり、前記したように、竜王インターが交通の結節点、国道8号と国道1号の通過町としての機能をもった町であることから、日常生活、生産活動において支障が及ばないような交通体系の整備が求められている。

また、集落間を連結する町道については道路補修が集中的に発生してきている状況であり、日常生活に密着する交通インフラの整備は、地域住民にとって最も重要な実施事項であります。

○主に必要とされている道路整備

基幹道路整備・・・名神高速道路に新交通結節拠点として竜王第2インター等の設置および接続道路の整備。

国道8号・・・バイパス整備による渋滞解消（ゆとりある生活への改善、産業振興の向上）

国道477号・・・両側歩道を含む道路拡幅・交差点改良（安全安心の通行の確保、竜王インターへの物流交通の良好な誘導）

県道綾戸東川線・・・拡幅改良と両側歩道の整備（安全な通学路の確保）

県道小口川守線・・・歩道整備、橋梁改良（中心核への安全誘導）

町道中央通り線・・・両側歩道を含む拡幅改良（町の幹線道路としての道路整備）

町道山面鏡西線・・・道路新設（渋滞解消のためのバイパス整備）

町道西川ため池線・・・両側歩道（通行者の安全確保）

町道小口八重谷線、町道西通り線・・・歩道設置と道路拡幅、橋梁改良（通行者の安全確保）

集落間の連絡町道・舗装補修、舗装改良・・・（路面凹凸による事故防止、近接住宅への振動防止等）

今後の道路行政についての意見・提案

③道路施策の重点事項（代表事例、期待する効果や評価等）

滋賀県竜王町

○重点事項 地域活力の 向上	○代表事例 竜王インターチェンジは、周辺工業地からの 経済活動の交通結節拠点となっており、産業イ ンターとしての役割をもっている。 現在、竜王インター周辺において大型商業施 設の建設準備が進められており、地域活力の起 爆材となるものと期待しているところです。 しかしながら、施設利用者による交通渋滞が 心配されてるところであり、この渋滞に巻き込 まれる形で、産業の運輸活動に支障が及ぼすの ではと危惧されている。 これらの対策については、交通関係機関によ る協議会を立上げ、検討結果として関連道路の 一部四車線化、交差点改良などの対策が講じら れるようになってる。	○期待する効果や評価等 この商業施設の立地場所は、地方部の山地部で あることから、渋滞対策の一つとして一部四車線 化など対策については期待をしているところであ るが、そこに接続する道路網の整備強化は必要で あると考える。	○その他
----------------------	--	---	------

今後の道路行政についての意見・提案

③道路施策の重点事項（代表事例、期待する効果や評価等）

滋賀県竜王町

○その他

次期「社会資本整備重点計画」（案）から

次期重点計画において対応すべき課題のなかで、生活圏レベルにおける生活の利便性向上や交流を通じたにぎわいの確保が掲げられている。

本町においては、隣接する野洲市、湖南市との生活圏レベルでの交流を高めるため広域交通網計画を掲げている。これらの整備にあたっては、市町では対応できる規模ではないことから、県にもお願いしているところでもあるが、道路アクションプログラムにも載せられない状況であり、国の直轄事業または県へのバックアップをお願いしたい。

また、「中山間地域等における投資については、その効率性の観点や最低限度の生活水準の確保などの検討が必要」となっている。「最低限度の生活水準の確保」はどの程度と考えているのか。中山間地域への道路整備投資については、地域の活力を向上していくためにも重要な投資であり、一般財源の持出をできるだけ抑える範囲での安心の投資をお願いしたい。

「子育て支援、バリアフリー社会の形成」において緊急性を有する事業の中で、「子どもと家族を応援する日本重点戦略」等、本格的な少子化へ対抗して「すべての子ども、すべての家族を大切に」する取組みを推進することについて、道路網が弱いと、産業が冷え込み、同時に地域における就業人口も減少し、若者が町外へ流出し、過疎の町へと進んでいく。

緊急性を有する事業からすれば、まさにこれらの状況は食い止めなければならない状況ではないでしょうか。

このような地域の道路整備は、道路特定財源等に関する基本方針の中の「必要と判断される道路」と考えますので、国を支える地方への十分な道路財源確保をお願いする。